

News Release

2019年11月5日

日立キャピタル株式会社

Green Earth Institute 株式会社

日立キャピタルと Green Earth Institute が 食品残渣を原料に栄養補助素材などの“健康”に寄与する有用化学品の共同開発を開始

日立キャピタル株式会社(執行役社長兼 CEO:川部 誠治/以下、日立キャピタル)とバイオマスを原料とした化学品の開発・事業化を行う Green Earth Institute 株式会社(代表取締役:伊原 智人/以下、GEI)は、2019年11月1日より、資源循環型社会の実現に向けた共同開発を開始しました。今後、両社は、食品残渣(非食用部)や農業残渣などを原料とした「健康」に寄与する有用化学品の研究開発を推進します。

日立キャピタルは、現在、「社会価値創造企業」として、SDGs、ESG を基点に、お客さまやマーケットのニーズに応えるべく、あらたな事業の創生に取り組んでおり、新規事業創出に向けた研究開発への経営リソースの重点投入を図っています。一方で、GEI は、2011年に公益財団法人地球環境産業技術研究機構(RITE)発のベンチャー企業として設立されました。現在、地球環境問題や食料問題の解決に貢献すべく、バイオリファイナリー(バイオマスを原料とした化学品製造)分野におけるプラットフォームの提供をめざしています。

このような状況下、日立キャピタルグループと GEI は、このたび、サーキュラーエコノミー(循環型経済)や脱炭素社会構築への貢献に向けて、あらたな資源循環型ビジネスの機会を創出すべく、共同開発を開始します。

日立キャピタルグループが有する事業化の実績やそのノウハウ、多様な業界との強固な関係性と、GEI のバイオリファイナリー分野における技術力、知見という両社の強みを組み合わせることで、現状では廃棄されている食品残渣や農業残渣などを、健康に寄与する栄養補助素材などのあらたな有用化学品に転換するための研究開発、ならびに、将来の事業化のあり方などの検討を図ります。両社は、本共同開発の成果を生かして、事業化に向けた取り組みを進めるとともに、中長期的にはさまざまな有機廃棄物を有効活用する仕組みの確立を図ります。これらの推進により、廃棄時の二酸化炭素排出量を抑制するとともに、石油由来ではないグリーン化学品に転換することで、環境負荷の低減に貢献していきます。

■ 今回の共同開発について

共同開発の目的	サーキュラーエコノミーや脱炭素社会構築への貢献に向けた、あらたな資源循環型ビジネスの機会創出
共同開発の内容	食品残渣や農業残渣などを原料とした「健康」に寄与する栄養補助素材などの有用化学品の研究開発
共同開発期間	2019年11月から2020年4月末まで
両社の主な役割	日立キャピタルグループ: 事業モデルの検討や食品残渣における有用性の調査 GEI: 技術的な観点からの検証

■ 日立キャピタルグループについて

日立キャピタルは、「社会価値創造企業」を経営方針に、グローバルにて SDGs を基点とした社会課題の解決と企業としての持続的な成長の両立を図ります。日立キャピタルは、「環境・エネルギー」「モビリティ」「ライフ」「販売金融」を重点事業に設定、これらの分野において、金融のみならず、サービスや事業化、ならびにそれらを組み合わせた新しい価値を提供することで、社会課題の解決に貢献します。詳しくは日立キャピタルのウェブサイトをご覧ください。(<https://www.hitachi-capital.co.jp/>)

■ GEIについて

革新的なバイオプロセスを利用したグリーン化学品やバイオ燃料の製造の事業化を手掛ける、地球環境産業技術研究機構(公益財団法人)発の技術開発型ベンチャー企業。創造的な技術力・提案力でバイオリファイナリー分野を牽引し、地球が抱えている「地球環境」「食料」「エネルギー」などの地球的課題解決に貢献し、持続可能なグローバル社会の実現を図ります。詳しくはGEIのウェブサイトをご覧ください。(<http://gei.co.jp>)

■ 報道機関お問い合わせ先

日立キャピタル株式会社

経営企画部 ブランドコミュニケーショングループ [担当:竹内、伊藤]

〒105-0003 東京都港区西新橋一丁目3番1号

TEL 03-3503-2118(直通)

Green Earth Institute 株式会社

経営企画室 [担当:伊東]

〒113-8485 東京都文京区本郷七丁目3番1号

TEL 03-3818-9211

以上